

雄物川水系流域治水協議会 作業部会 取組報告

- ・雄物川水系流域治水プロジェクト 現地視察 開催結果……………1
- ・特定都市河川指定に向けた勉強会 開催状況……………5

令和5年度 現地視察 開催趣旨

本現地視察は、「流域治水プロジェクト」において位置付けられた事業を雄物川圏域内の関係機関で共有し情報交換の場として活用するほか、得られた情報を基に流域内に広く展開して頂き、あらゆる関係者による流域治水の更なる推進・実践していくものであります。

現地視察一覧

- ・2023. 5. 19(金)開催 「排水ポンプ車配置・操作訓練」現地視察・・第9回 作業部会
- ・2023. 7. 5(水)開催 「田んぼダム」現地視察・・・・・・・・第10回 作業部会
- ・2023. 10. 12(木)開催 「成瀬ダム」現地視察・・・・・・・・第11回 作業部会

【河川】第9回雄物川圏域流域治水協議会作業部会

令和5年5月19日

「国・県・市の3機関合同による排水ポンプ車配置・操作訓練」を開催しました！！

1. 概要

- 本現地視察は、「流域治水プロジェクト」において位置付けられた事業を雄物川圏域内の関係機関で共有し情報交換の場として活用するほか、得られた情報を基に流域内に広く展開して頂き、あらゆる関係者による流域治水の更なる推進・実践していくものであります。
- 第五回目となる現地視察では、大仙市福部内川遊水地で取り組んだ内水氾濫への対策訓練状況を現地視察するものであります。

2. 日時／実施状況

- 日時：令和5年5月19日(金) 9:30～11:30
- 現地視察箇所：福部内川遊水地(大仙市大曲須和町地内)
- 出席者：秋田県仙北地域振興局建設部(保全・環境課)
大仙市総務部(総合防災課)
湯沢河川国道事務所(流域治水課)
成瀬ダム工事事務所(調査設計課) 計31名参加
- 次第 進行：事務局 仙北地域振興局 保全・環境課
 1. あいさつ(秋田県仙北地域振興局 保全・環境課 小林課長)
 2. 福部内川遊水地水門の遠隔・機側操作訓練
 3. 国・県・市 排水ポンプ車の配置・操作訓練
 4. 講評



↑ 福部内川水門の遠隔・機側操作状況



↑ 国土交通省・秋田県・大仙市による排水ポンプ車設置訓練状況

【大仙市における過去の水害について】

10ヶ月間で3回の水害に！

- ・平成29年7月22日からの大雨災害(災害救助法適用)
- ・平成29年8月24日からの大雨災害
- ・平成30年5月18日からの大雨災害



↑ 近年大きな洪水が発生し、合わせて内水氾濫も生じた(花火大会前の洪水状況)

あいさつ



↑ 秋田県仙北地域振興局 小林課長

・近年は異常気象で思いもよらない大雨があるので、訓練を重ねて対応できるようにしていきたい。



↑ 排水ホース設置状況



↑ 堤防乗越施設天端の排水ポンプ車配置確認状況

・国・県・市3機関による排水ポンプ設置・操作訓練において、堤防乗越施設天端での排水ポンプ車展開時の作業性等今後検討していく。

「田んぼダム」現地視察を開催しました！

1. 概要

- 本現地視察は、「流域治水プロジェクト」において位置付けられた事業を雄物川圏域内の関係機関で共有し情報交換の場として活用するほか、得られた情報を基に流域内に広く展開して頂き、あらゆる関係者による流域治水の更なる推進・実践していくものであります。
- 第六回目となる現地視察では、秋田県仙北地域振興局農林部と地元(大仙市や土地改良区)が連携し取り組んでいる「田んぼダム」について現地視察を行ったものであります。

2. 日時／実施状況

- 日時：令和5年7月5日(水)
- 説明会場：大仙市史跡の里せんぼく「さくまろ館」 大会議室
- 現地視察箇所：日本型直接支払交付金活動地域(大仙市高梨地内)：「畑屋中央地区」ほ場整備箇所(美郷町安城寺地内)
- 出席者：東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所、秋田県(建設部・秋田地域振興局建設部、仙北地域振興局農林部・建設部)、湯沢市(総務部)、秋田市(総務部・建設部)、大仙市、美郷町、千畑土地改良区、東北地方整備局(成瀬ダム工事事務所・玉川ダム管理所・湯沢河川国道事務所) 計40名参加

- 次第 進行：事務局 湯沢河川国道事務所 流域治水課
 1. あいさつ(秋田県仙北地域振興局 池田農林部長)
 2. 田んぼダム：概要説明
 - 1)「流域治水プロジェクト」における「田んぼダムの位置付け」
 - 2)大仙市における「田んぼダム」の取組状況
 3. 田んぼダム：現地視察
 4. 意見交換

あいさつ 秋田県仙北地域振興局 池田農林部長



・令和3年度より美郷町におけるスマート田んぼダム実証や各種の普及啓発活動を実施
 ・農家の合意形成が不可欠であり、納得感と安心感を持って取り組んでいただくことが重要
 ・今後、有識者の協力も仰ぎながら効果検証を進め、田んぼダムの更なる普及拡大に向けて取り組む



説明会場(田んぼダム説明)



↑説明会場の状況(大仙市からの田んぼダムの説明)

現地視察(①田んぼダム(大仙市))



←①田んぼダム
機能分離型排水方式

現地視察(②スマート田んぼダム(美郷町))



↑②スマート田んぼダムの説明状況



↑排水口に設置された機器
スマートフォンで遠隔操作指示可能

「成瀬ダム」現地視察を開催しました！

1. 概要

- 本現地視察は、「流域治水プロジェクト」において位置付けられた事業を雄物川圏域内の関係機関で共有し情報交換の場として活用するほか、得られた情報を基に流域内に広く展開して頂き、あらゆる関係者による流域治水の更なる推進・実践していくものであります。
- 第七回目となる現地視察では、雄物川沿川の洪水被害軽減等の目的に建設が進められている成瀬ダムの現地視察を行ったものであります。

2. 日時／実施状況

- 日時：令和5年10月12日(木) 13:00～16:20
- 現地視察箇所：成瀬ダム
- 出席者：気象庁秋田地方気象台、秋田県仙北地域振興局(建設部)、大仙市(総合防災課)、横手市(危機対策課)、湯沢市(総務課総合防災班)、美郷町(住民生活課)、東成瀬村(民生課)、東北地方整備局(成瀬ダム工事事務所・湯沢河川国道事務所) 計 21名参加

- 次第 進行：事務局 湯沢河川国道事務所 流域治水課
- 1. あいさつ(成瀬ダム工事事務所 木村調査設計課長)

2. 成瀬ダム現地視察

- 1) 成瀬ダム KAJIMA DX LABO 見学
- 2) 成瀬ダム 現地視察
 - ① 堤体施工状況視察
 - ② 原石山展望台より視察

3. 意見交換



成雄物川流域治水協議会 作業部会
(成瀬ダム工事事務所 参集状況)



↑KAJIMA DX LABO (ジオラマ前)にて説明



↑KAJIMA DX LABO コンシェルジュの説明



←タブレットに
映し出される
3D画像



←右岸展望台
での説明



↑右岸展望台より堤体下流面を望む
(世界最先端の自動化施工を実現している成瀬ダム堤体打設状況)



↑原石山展望台より堤体上流面を望む (堤体積の約8割まで進捗：R5.9末)



←令和5年7月からベルトコンベアを
本格稼働させ、CSG運搬の高速化・
安定化・省人化を図っています。

特定都市河川指定に向けた勉強会 検討状況

気候変動の影響による降雨量の増加等に対応するため、**流域全体を俯瞰し、あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」の実現を図る**「特定都市河川浸水被害対策法等の一部を改正する法律」(通称「**流域治水関連法**」)が規定され、令和3年11月1日(月)に**全面的に施行**されました。

「**流域治水関連法**」では、**ハード・ソフト一体の水災害対策「流域治水」の本格的実践**に向けて、特定都市河川浸水被害対策法に基づく特定都市河川を全国の河川に拡大し、ハード整備の加速に加え、国・都道府県・市町村・企業等の**あらゆる関係者の協働による水害リスクを踏まえたまちづくり・住まいづくり、流域における貯留・浸透機能の向上等を推進**していくこととしており、その取り組みは「**特定都市河川の指定**」から**進める**こととなります。

背景

気候変動による降雨量の増加により、本支川合流部や狭窄部などの箇所において、従来想定していなかった規模での水災害が頻発例) 西日本豪雨 (H30)、東日本台風 (R1) など

法的枠組みを活用した流域治水の推進

特定都市河川の指定要件を拡大※し、全国の河川で、法的枠組みを活用して、ハード整備の加速に加え、国・都道府県・市町村・企業等の関係者の協働で土地利用規制や流出抑制対策等に取り組む。

特定都市河川の指定 全国の河川へ指定拡大

流域水害対策協議会の設置 計画策定・対策等の検討

構成員：河川管理者、下水道管理者、都道府県、市町村等

流域水害対策計画 策定

洪水・雨水出水により想定される浸水被害に対し、概ね20-30年の間に実施する取組を定める

計画に基づき、関係者の協働により、「**流域治水**」を**本格的に実践**

令和4年度より
予算の重点化

遊水地・輪中堤・排水機場等の**整備の加速**

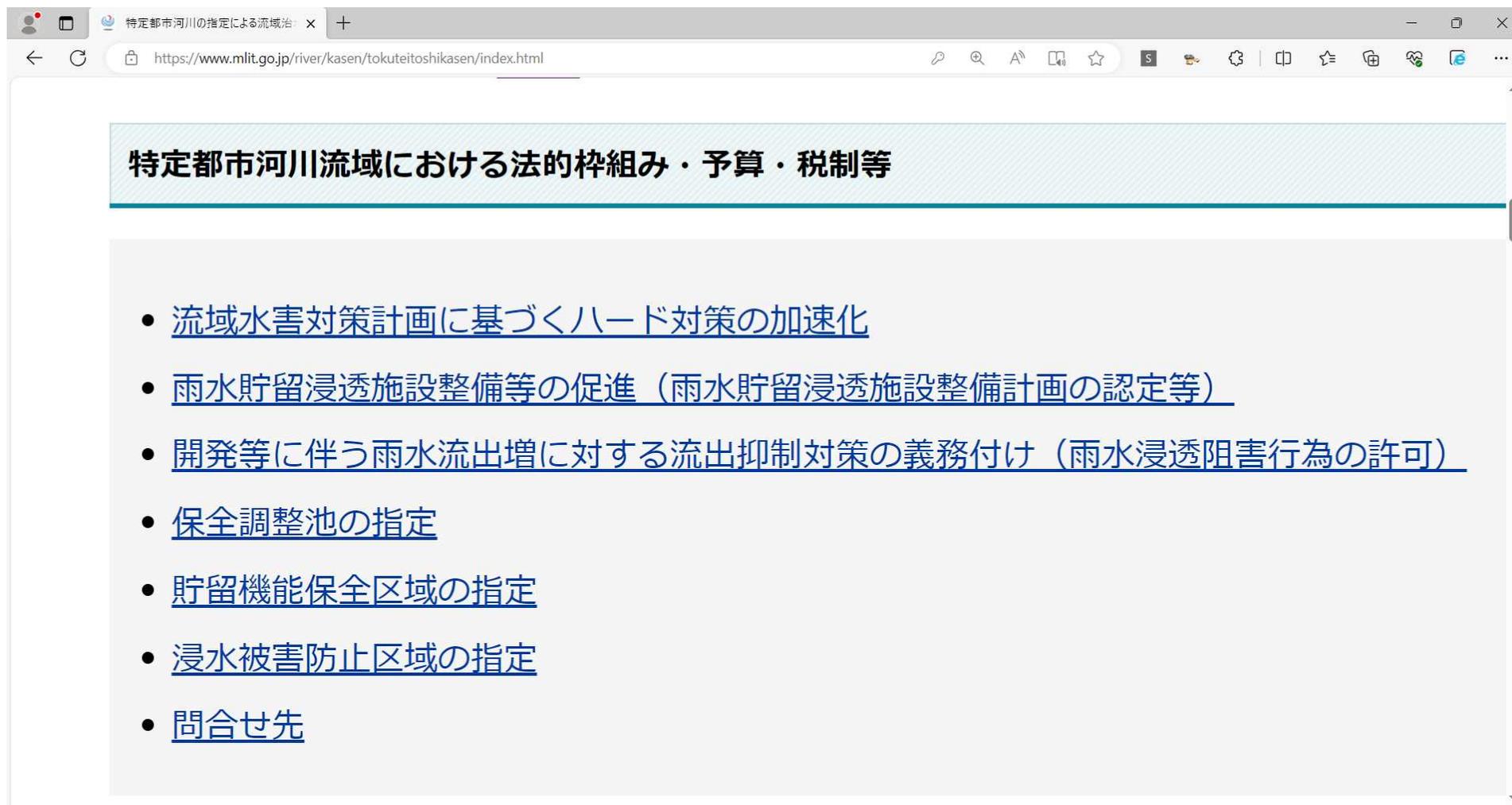
雨水浸透阻害行為への対策の義務付けによる雨水流出抑制の推進
公共・民間による雨水貯留浸透施設の**整備促進**

令和4年度より
予算・税制支援

浸水被害防止区域・貯留機能保全区域の指定等の
水災害リスクを踏まえた**まちづくり・住まいづくりの推進**



特定都市河川指定に向けた勉強会 検討状況



特定都市河川流域における法的枠組み・予算・税制等

- 流域水害対策計画に基づくハード対策の加速化
- 雨水貯留浸透施設整備等の促進（雨水貯留浸透施設整備計画の認定等）
- 開発等に伴う雨水流出増に対する流出抑制対策の義務付け（雨水浸透阻害行為の許可）
- 保全調整池の指定
- 貯留機能保全区域の指定
- 浸水被害防止区域の指定
- 問合せ先

※ 国土交通省ウェブサイト→<https://www.mlit.go.jp/river/kasen/tokuteitoshikasen/index.html>

特定都市河川指定等に向けた対応状況

⇒ 特定都市河川指定 ～丸子川を基軸に関係機関連携(国・県・大仙市)～

- 1) 特定都市河川指定を目標としている**丸子川を基軸**に関係機関と勉強会を開催(R4～)
- 2) 令和4年度は2回実施し、大仙市のお困りごとの確認や、雨水対策に対する現状と今後の計画検討について確認した
- 3) 令和5年度は3回実施し、国・県・市における内外水に対する治水対策のメニュー案や、特定都市河川指定に向けた検討内容を確認するとともに、第4回勉強会においては、大仙市各部局の実務責任者に前回までの検討内容について確認いただいた
- 4) 次回は得られた意見も踏まえて、特定都市河川指定に向けた勉強会を実施する予定



第4回特定都市河川勉強会 実施状況(in 大仙市)
令和5年12月14日実施



第5回特定都市河川勉強会 実施状況(in 大仙市)
令和6年2月2日実施